

夜間、枯れづるをビーティングして得たものである。

\* 草間慶一(1973), 日本産カミキリの生態と分布一覽表(新しい昆虫採集案内Ⅲ)

(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

### 対馬でキリシマゴマフカミキリを採集

足立 一夫

1974年4月22日, 対馬厳原港の裏山で採集したクロマツ枯枝より同年8月17日, *Mesosa cribrata kirishimana* MATSUSHITA キリシマゴマフカミキリ1♂が羽化したので対馬新記録種として報告する。

この枯枝はキュウシュウトゲバ幼虫の寄生を確認して持ち帰ったもので, 計8本のそのほとんどを長さ5~8cm, 太さ1.4~1.8cmのサイズに切断し, ワンカップ大関の容器に全部を入れて保管していたもの。5月下旬~6月上旬にキュウシュウトゲバが羽化した後, そのまま放置していたところ, 7月上旬, 筆者が神奈川へ転勤となり, たまたま会議で北九州の自宅へ戻った折に本種に気づいたのである。この個体は体長7mmの小型のもので長野県峠産のフタスジゴマフカミキリと比較してみたが, 斑紋の変化以外, 体型的にも変わらないように思える。

本種の羽化した枯枝は長さ7cm, 直径1.7cmのもので, 中心部はキュウシュウトゲバが穿孔しており, 本種は樹皮下を食していた。脱出孔はキュウシュウトゲバが材の表面にはぼ円形の3mm前後の飛孔をあけるのに対し, 樹皮上に長径4mm, 短径3mmの楕円形の飛孔をあけていた。

なお, 付近のクロマツ太枝の樹皮下よりナカバヤシモモプトカミキリ蛹3頭を採集して持ち帰り, 1♂1♀が羽化, 他の1頭は採集の際に傷つけ, 不完全羽化となった。

対馬においてはキュウシュウトゲバ・ナカバヤシモモプトカミキリ2種の記録は数例しかないので参考のため記しておく。

#### <記録>

1. キリシマゴマフカミキリ  
クロマツ枯枝: 22. Ⅳ. 1974, 対馬厳原  
1♂羽化: 17. Ⅷ. 1974, 北九州市小倉区
2. キュウシュウトゲバカミキリ  
クロマツ枯枝(8幼虫): 22. Ⅳ. 1974, 対馬厳原  
5♂♂3♀♀羽化: 20. Ⅴ~6. Ⅵ. 1974,  
北九州市小倉区
3. ナカバヤシモモプトカミキリ  
クロマツ太枝樹皮下より3蛹: 22. Ⅳ. 1974,  
対馬厳原

1♂1♀羽化, 1♂不完全羽化: 3~6. Ⅴ. 1974,  
北九州市小倉区  
(〒254 平塚市真土1781-1 (髙田工業所早雲寮))

### キンケチャイロカミキリ沖縄本島の記録

杉野 広一

キンケチャイロカミキリ *Asaperda bicostata* HAYASHIは, 従来, 屋久島・トカラ列島・奄美大島・徳之島・沖永良部島に産することが知られていたが, 筆者は沖縄本島での記録を得たので, 報告しておく。

1 ex., 国頭村辺野喜,

16. Ⅳ. 1973, 杉野広一採集  
7 exs., 国頭村宜名真,

17. Ⅳ. 1973, 杉野広一採集  
いずれもアカメガシワに巻きついていたつる性植物のビーティングによって得た。

(〒663 西宮市上大市4-148)



### ヒトオビチビカミキリを山梨県大菩薩で採集

武智 昭一

ヒトオビチビカミキリ *Sybra unifasciata* FUJIMURA は関東周辺においては, 奥日光・南アルプス・天城山より記録されているが, 筆者は山梨県大菩薩山塊において下記の通り採集したので報告する。

1♂, 大菩薩日川林道(初鹿野~嵯峨塩間),

29. Ⅶ. 1974, 武智昭一採集

なお, 本種の同定および, 本誌への報告を勧められた藤田宏氏に感謝する。

(〒197 福生市福生153)-9-506)

### オキナワゴマフカミキリの宮古島の記録

高桑 正敏

先島諸島においてはオキナワゴマフカミキリ *Mesosa pictipes* GRESSITT は石垣島からのみ記録があり, ssp. *yayeyamai* とされている。筆者は宮古島において本種を採集したので記録しておく。

2♂♂, 宮古島友利, 14. Ⅵ. 1974

オオハマゴウの枯枝をビーティングして得た。石垣島産のものとは特に差異はないように思うが, 1♂は上翅中央の白色帯がきわめてせばまるなどの特徴がある。

(〒235 横浜市金沢区六浦町3577)